

サービス事故の防止に向けて

教職員の不祥事の報道が後を絶ちません。サービス事故の根絶を目指し、教育公務員としての根幹であるサービス（職務に服する場合に守らなければならない義務や規律）の厳正に努めましょう。

中央教育事務所

<教育公務員として>

子どもたちの人格の育成を促す職務を担っており、疑惑や不信を招くような行為は厳に慎む必要があります。

- ・常に見られている意識をもち、身だしなみを整え、言動に配慮していますか？
- ・子どもたちに明るく、公平に接していますか？
- ・職務上知り得たことや個人情報、他人（SNSやメールを含む）に漏らしていませんか？

（過去の事例から）



- ・PTAの授業参観の時、先生がジャージ姿でサンダル履きだった。
- ・学校の近くで数名の教員が喫煙し、住民からクレームがきた。
- ・時間がなかったので、問題集の見本をコピーして子どもに配布した。
- ・勉強ができる子には優しく、勉強のできない子には見下した言葉かけをした。
- ・子どもとメールのやり取りをすることを親や管理職の許可をとらなかった。

- ※ 「ま、いいか！」 不祥事起こす そのゆるみ
- ※ うしろから 自分を見つめて チェックする
- ※ 公開し 後悔してる マイブログ



<不適切な指導・暴言・体罰>

子どもの心や体に傷を負わせることがないように、子どもの人権については細心の注意を払う必要があります。

- ・「親しさの表現」、「励まし」等が動機の言動であっても不快に思い、それを明確に意思表示できない子どもがいることを認識していますか？
- ・指導に熱中するあまり自分の感情が先行し、行き過ぎた指導になることがありますか？

（過去の事例から）



- ・親しみを込めて特定の子どもの名前や動物名で呼んでいた。
- ・部活動の練習態度が悪いのを理由に過度な練習を課し、熱中症を発症させた。
- ・提出物を忘れた子どもに「ベランダから飛び降りろ」と発言した。
- ・指導した際、子どもが反抗的な態度をしたので、胸を小突き胸ぐらをつかんだ。
- ・掃除の際、言うことを聞かない子どもの体を押さえつけながら床を拭かせた。

- ※ 愛の鞭 それは体罰 ただの無知
- ※ 見直そう 「慣れ」でやってる 日々の癖
- ※ 隠すほど 失う信頼 広がる被害



<参考>

- ・秋田県教育委員会「不祥事防止ハンドブック」H29.11
- ・不祥事根絶対策専門家会議「信頼される学校・教職員であるために」
- ・東京都教育委員会「使命を全うする！」
- ・HTCコンプライアンス標語コンテストより

